

火災番号	—
------	---

(2) 消防署長 様

(1) 年 月 日

住 所
氏 名

(3) 申告者 生年月日

職 業
電 話

車両・船舶・航空機り災申告書

1	り 災 年 月 日		(4) 年 月 日	
	り 災 場 所	(5)		
	り災物件と申告者との関係		(6) 所有者・管理者・占有者・その他	
(7) 2 車 両	運 転 者 名		購 入 年 月 日	
	用 途 別		購 入 金 額	
	車 両 番 号		年 式	
	焼 け た 箇 所	消火のため濡れた, 汚れた, 壊れた箇所		そ の 他
(8) 3 船 舶 ・ 航 空 機	船長・機関長		船 名 ・ 機 名	
	用途・機種		就 航 年 月	年 月
	トン数 最大離陸重量		購 入 金 額	
	焼 け た 箇 所	消火のため濡れた, 汚れた, 壊れた箇所		そ の 他
(9) 4 積 載 物	焼 け た 箇 所	消火のため濡れた, 汚れた, 壊れた箇所		そ の 他
	り災物件との関係	所有者・管理者名		
5	(10) 火災保険契約会社		保険金額	

備 考

- この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出して下さい。
- り災証明書を申請するとき、代理人の場合は、委任状を添えて申請して下さい。

記載事項

(2の欄)

用途別の欄には、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの別を記入して下さい。

(3の欄)

用途、機種別の欄には、客船、貨物船、旅客船、観測機、練習機などの別を記入して下さい。

(4の欄)

積載物の欄には、損害を受けた物の品名と時価に見積もった損害額を記入し、また申告者と積載物を記入して下さい。

車両・船舶・航空機り災申告書記入要領

項目	記入内容
(1) 年月日	申告書を提出する年月日を記入します。
(2) 宛先	申告書を提出する消防署長名を記入します。(気仙沼又は南三陸)
(3) 申告者	申告者の住所、氏名、生年月日、職業、電話番号を記入します。(法人の場合は法人の住所、名称、代表者の職、氏名、生年月日、電話番号を記入します。)
(4) り災年月日	り災した年月日を記入します。
(5) り災場所	り災した場所を記入します。
(6) り災物件と申告者との関係	り災物件と申告者との関係について該当するものを○で囲みます。
(7) 車両	車両がり災した場合は、運転者名、購入年月日、用途別、購入金額、車両番号、年式、焼けた箇所、消火のために濡れた、汚れた、壊れた箇所、について記入します。
(8) 船舶・航空機	船舶・航空機がり災した場合は、船長・機関長名、船名・機名、用途・機種、就航年月、トン数・最大離陸重量、購入金額、焼けた箇所、消火のために濡れた、汚れた、壊れた箇所について記入します。
(9) 積載物	積載物がり災した場合は、焼けた箇所、消火のために濡れた、汚れた、壊れた箇所、り災物件との関係について、所有者、管理者いずれかを○で囲み、氏名を記入します。
(10) 火災保険	火災保険に加入している場合は、火災保険契約会社名、保険金額を記入します。